
小麦粉の大魔王

北岡ジャック

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

小麦粉の大魔王

【Nコード】

N23890

【作者名】

北岡ジャック

【あらすじ】

なあ、知ってる？俺って大魔王らしいぜ？ああ、マジで。ははっ。笑えるだろ？笑えねえよチクショウ！！「小麦粉」の大魔王なんて……、まっぴらごめんだね！！

prologue

俺は、空を見上げるのが好きだ。

四月の上旬の空となると、余計心が踊る。

なぜかって？

そりゃあ空を見てるとき、なんか心が希望で溢れてくるじゃん。しかも、出会いの季節「四月」。

ああ、こんなにも空は広いんだぜ？

……うん！

「美少女は必ず降ってくる！」

「お前は歩道の真ん中で何叫んでんだ？」

「ウワオ!!!」

思わずアメリカンな驚き方をしてしまった。屈辱だつ!!!

俺は額に浮いた汗を拭いながら、後ろの声に振り向いた。

振り向いた先には、見覚えのある顔があった。

「てめっ！服部!!!いきなり後ろつけてんじゃねよ!!!忍者かつ！

！」

「ハハツ。忍者つて。」

服部一郎（はつとりいちろう）

そこには気持ちの悪い笑顔を向ける、俺の幼馴染みの姿があった。

コイツ、容姿は良い方なんだと思う。身長も高く、無駄な肉が付いていないのに妙に存在が大きく感じる。

野生味ある目つきは、そこらの不良やヤンキーよりも鋭く、ヤクザの組長のような落ち着きのある睨み目だ。

ヤクザの組長を見たことあるわけじゃないけどね。

まあ、なんつーか体全身が凶器みたいな危なっかしさが滲み出て、

「笑顔が気持ち悪い。」

「何だよ急にっ!!」

しまった、思わず本音が。

ヤンキーやヤクザだったら即殺されていたんだろうけど、コイツの場合は逆。さっきの一言で、かなり落ち込んでしまった。どうやらコンプティ……コンプレックスらしい。

「お前も泉高校一年生なんだってな！同じクラスにならねーかなー？」

「ニヤニヤすんなよ気持ち悪い……。こっちはまっぴら御免だね。」
俺は嫌な気分を思いつき顔に出して返事をした。

こいつは能天気でいいよな。人の気持ちイイ気分を妨害してきたくせによ。

先日、入学祝にと買ってもらった腕時計に目をやる。針は午前9時を指していた。

この物語の主人公。

長崎翌日（ながさきあきら）が大魔王になるまで、後12時間。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2389o/>

小麦粉の大魔王

2010年10月11日00時39分発行